

## フィンランド自転車展 (Fillari09) 及びフィンランド自転車市況

### 1. フィンランド自転車展 (Fillari09)

フィンランド国内ユーザー向け自転車展示会が、2009年3月13日(金)～15日(日)、ヘルシンキの見本市会場で開催され、他共催展と併せて3日間で合計34,000人が訪れた。

#### 【Fillari09】

主催： The Finish Fair Corporation

会場： Helsinki Exhibition and Convention Center

会期： 2009年3月13日(金)～15日(日)

開催時間： 13日 12:00～19:00、14日 10:00～19:00、15日 10:00～17:00

使用ホール： ホール6；自転車、釣り、アウトドア、ハンティング 18,300㎡  
ホール1,2；フィットネス 6,900㎡、ホール3；ゴルフ 7,100㎡

入場者数： 34,000人 (GoExpo 全体)

出展社数： 自転車79社、釣り31社、アウトドア42社、ハンティング8社、  
フィットネス22社、ゴルフ23社



会場正面入口



トレック/ゲアリーフィッシャー

本催事は自転車、フィットネス、ゴルフ、アウトドア、釣り及びハンティングの6分野の展示会が集合した総合スポーツ展「GoExpo」の形式をとっている。アウトドア、フィットネスとの合同展は他国でも見られるが、更に釣り、ゴルフ、ハンティングなどが加わっている点が特徴である。その中でも自転車は出展面積、出展社数いずれも最大であり同展のメインは自転車であるといえる。

主な出展ブランドは、トレック/ゲアリーフィッシャー、サイクルヨーロッパグループのクレセントとピアンキ、アクセルグループのTUNTURI、ニシキなどが大きな小間で得意車種を多数展示していた。地元フィンランド企業もHELKAMAをはじめ数社が参加し、主にシティ車、トレッキング車を中心に展示していた。特に地元フィンランドで人気の婦人向けシティ車はメッシュの前カゴ、U形やループ形フレームの外見は日本の軽快車によく似ている。しかし平均価格500～700EURO(65,000～91,000円)と高額である。かつてスウェーデンの自転車展でも同様のシティ車を見かけた。この仕様は北欧諸国の消費者嗜好に合わせたものといえ

る。更にはジャイアント、コラテック、フェルト、フォーカス及び KTM なども見られ、一部の販売業者小間では部品、付属品や衣料の販売も行われていた。



クレセント



TUNTURI



外見が日本の軽快車に似たシティ車が各小間で見られた

この自転車展では特に試乗コーナーが充実していた。コース自体は単純なものであったが、用意された試乗用自転車は種類も豊富で、ずらりと並んだ自転車の列は圧巻であった。随所に専用スタッフが待機しており、来場者の希望に応じ車種選定等のアドバイスをしている姿を頻繁に見かけた。

また今回はフィンランドの自転車製造業者 HELKAMA 社に話を聞く機会も得た。同社はフィンランド国内での製造にこだわり、他業者が製造拠点を他国へ移転し又は組立作業のみに集約する中で今や唯一のフィンランド国産の製造業者となった。その自負から全ての当該社自転車フレーム部分には「Made in Finland」の文字が掲げてあった。現在はトレッキング車が中心であるが電動アシスト車にも早くから進出、今ではドイツなど他国にも輸出している。同車種では長年日本製ユニットを使用しており近年の日本製品の動向にも関心を寄せていた。また最近、1960年代に同国で流行ったスタイルの自転車を再現した「JOP0」の生産を始めた。ミニサイクルタイプでシングルギア、コースターブレーキというシンプルな装備で、標準的なシティやより価格も安くレトロ感覚も消費者に受け、更に種類を増やす意向である。その一方で「101」シリーズなど斬新なデザインも生み出すなど、新商品開発に意欲的である。



HELKAMEA ブース



レトロな自転車 JOPO



EPAC



「Made in Finland」の表示

## 2. フィンランド自転車市況

SPTY(フィンランド技術産業協会)によると、2008年の輸入は347,389台と前年比約11%増となり過去5年で年々増加している。主な輸入先としては台湾が最多に変わりはないが、2006年シェア40%をピークにその比率は年々減少、2008年にはトルコ、インドネシアに代わりEU内のハンガリー、ポーランドが上位を占めた。これは国内メーカーが製造拠点を両国に移転したためである。それに対して国内生産数は年々減少し過去4年で半減した。なお、輸出は概ね年間1万台前後で推移しており、スウェーデンやバルト諸国など近隣地域向けが殆どである。

最近の販売台数は未集計であり、フィンランド自転車市場は他の欧州諸国に比べ大きくはないが、自転車小売専門店の平均販売価格は高い。同協会では全車種平均で約400ユーロ(52,000円)前後と推定している。また販売数は僅かであるが電動アシスト車の平均販売価格は1,700~1,800ユーロ(221,000~234,000円)と見られ、高付加価値商品の購入層があることが推測される。一方、量販店では100ユーロ(13,000円)以下の廉価車も売られている。消費者は小売専門店で購入を希望する傾向が強く、今後、小売専門店と量販との差はますます開くものと同協会は分析している。現在人気の車種は7段変速付き等のシティ車、すなわちトレッキング車に近いもので、MTB人気は凋落している。好まれるフレームカラーは黒、紺、銀など落ち着いた色が多く、女性向けには赤もあるが最近では白の人気が出てきている。



ホール 6 の様子。試乗コーナーには多くの自転車が用意されていた

以 上

参考資料（出所；SPTY）

生産、輸出入の推移

単位：台

年	2008	2007	2006	2005	2004
国内生産	*未集計	33,471	58,894	66,336	71,256
輸入	347,389	314,072	272,335	267,680	211,179
輸出	10,401	17,970	11,081	9,143	9,296

輸入先上位 3 カ国

単位：台

年	2008		2007		2006		2005		2004	
1 位	台湾	96,115	台湾	91,847	台湾	108,023	台湾	100,631	台湾	70,997
2 位	ハンガリー	40,085	ハンガリー	42,101	インドネシア	31,081	トルコ	40,945	トルコ	34,022
3 位	ポーランド	38,064	インドネシア	38,715	トルコ	28,945	インドネシア	27,580	スウェーデン	20,674

輸出先上位 3 カ国

単位：台

年	2008		2007		2006		2005		2004	
1 位	スウェーデン	5,010	エストニア	12,181	エストニア	5,755	スウェーデン	4,918	スウェーデン	4,918
2 位	エストニア	3,222	スウェーデン	2,679	スウェーデン	4,081	エストニア	3,485	エストニア	3,685
3 位	ラトビア	1,121	ラトビア	998	ラトビア	494	ロシア	536	フランス	217

(デュッセルドルフ事務所)